

射水市教育委員会 11月定例会会議録

開会日時 平成26年11月27日(木)

開会 午前10時5分

閉会 午後0時5分

会議場所 下庁舎201会議室

出席委員

眞岸委員長、宮原委員、大代委員、織田委員、結城教育長

会議事件説明員

橋詰教育次長、亀田教育次長、尾山学校教育課長、島田生涯学習・スポーツ課長、
沢田教育センター所長、正橋給食センター所長、島崎中央図書館長、原田新湊博物館長、
杉高学校教育課主幹、高橋生涯学習・スポーツ課主幹、塩谷学校教育課長補佐

傍聴人数 なし

会議の要旨

午前10時5分、委員長が開会を宣した。

1 会議録の承認

承認された。

2 教育長の報告

(1) 平成26年11月臨時会会期日程及び提出議案について

(2) 平成26年12月定例会会期日程について

(3) 平成26年度12月補正予算について

(4) 平成26年12月定例会提出議案について

教育長が概要を説明し、資料1に基づき学校教育課長が(1)を説明、教育次長が資料2から4に基づき(2)から(4)までを説明した。

3 協議事項

(1) 射水市教育振興基本計画について

学校教育課長及び生涯学習・スポーツ課長が資料5に基づき説明した。

4 各課等の連絡事項及び報告事項

(1) 射水市小中学校グリーンカーテン実証実験事業の概要について

学校教育課長が資料6に基づき説明した。

(2) 射水市奨学資金制度の見直しについて

学校教育課長が資料7に基づき説明した。

(3) 射水市生涯学習フェスティバルの開催について

生涯学習・スポーツ課長が資料8に基づき説明した。

(4) 平成27年射水市成人式について

生涯学習・スポーツ課長が資料9に基づき説明した。

(5) 射水市元旦マラソン2015の開催について

生涯学習・スポーツ課長が資料10に基づき説明した。

(6) 平成26年度優れた「地域による学校支援活動」推進にかかる文部科学大臣表彰の決定について

生涯学習・スポーツ課長が資料に基づき説明した。

(7) 教育委員会行事予定

学校教育課長補佐が資料11に基づき説明した。

5 その他

次回教育委員会の開催日時について

日時・場所は、12月26日(金)午前10時から下庁舎会議室

6 議事

(1) 射水市教育振興基本計画について

[委員] P4には人口、P5に児童生徒数の推移が記載されているが、これを「本市教育を取り巻く動向」で記載した理由は何か。

[事務局] 市総合計画では、人口を記載しているが、児童生徒数は記載していない。少子化によって児童生徒数が減少する実態を踏まえ、施策の展開が必要だという認識のもと示しているもの。自然動態のみ考慮している数値。

[委員] 少子化については、市全体で横断的な取組が必要であり、そういった記載も必要でないか。

教育を取り巻く動向に厳しい現状がある中、目標にある「きららか射水」という表現が浮いている感がある。

体系の示し方について、目標に各施策が繋がっているのが一般だが、どの施策がどの目標に対してのものなのかが分かりにくく幾分違和感がある。

[事務局] 一つの目標に対して、施策が繋がっているのが一般的だが、この点については、いろいろと協議がなされたところである。教育の動きというものを考えれば、目標一つずつを達成するために行われると言うより、総合的なものとなる。目標のどれに施策が該当するかよりも、みんな重なり合っているという意識を持っているという考えの下、このような体系とした。

人口増が重要であるという認識はあるが、施策的には教育委員会の権限が及ばないところである。市長と教育委員からなる教育総合会議の中で、少子化対策など市長の施策についても話題として取り上げていくことになると思う。

基本目標で記載している「きららか射水」については、上位計画である市総合計画を踏まえたものであり、その将来像から引用し、そのような射水市を創っていく必要があるという考えからである。

[委員] 厳しい現状がある中、地域の特性に着目し、どのように対応していくのかなど、現状を

踏まえた施策を展開して行ってほしい。

[委員] P 2 2 学校の適正配置において、幼稚園という言葉が出ていないが、どう考えるか。

[事務局] 幼児教育の充実については、P 2 1 に記載されている。公立幼稚園については、保育園と合わせて子育て支援課が所管する少子化対策検討委員会の中で協議がされており、その中の幼稚園部会というところで、幼稚園のあり方について検討されているところである。

[委員] 学力向上について、射水の特質を生かした「射水型」の学力向上委員会を目指していくのが良いのではないか。

家庭学習の少なさが数値に表れているが、取組に家庭・地域との連携についても記載をされればどうか。

少子化になると学校によって部活動が成り立たなくなる種目もある。また、野球など民間型で中学生に指導するものもあり、部活動人数の確保も心配となる。統廃合を検討するに当たって、こういったことも考えていてもらいたいと思う。

[委員] 基本理念に「確かな学力、豊かな心、健やかな体を基盤とした「生きる力」を身に付けることが重要」とあるが、これが基本で一番大事なことだと考えている。学力向上については、学力の低い者の底上げが大事と思う。表現的には考えなければならないが、このような内容の記載があっても良いと思う。

体力の取組についても、体力低下が昭和 60 年以降続いている。昭和 60 年頃の体力に近づける、目指すといった気持ちで取り組んでほしいと思う。

豊かな心については、基本意識やルールを守るなど基本的事項の記載になろうかと思う。

[事務局] 学力下位層の底上げについては、教育委員会でも問題視している。下位層の強化といった具体的な言葉はないが、P 1 0 にある補足的な学習～の中で、各学校とも授業についてこれない子どもたちのための補充学習について強化していくことを考えている。体力についても、現状に対して危機感を持っており、体育主任等と連携しながら向上のための取組を考えていく。「個に応じた指導を充実する」など、表現を考えていきたい。

[事務局] 家庭との連携は大切なこと。基本目標の中には「学校、家庭、地域が協力・連携～」といった記載をしており、施策の中にも連携を意識して取り入れている。

先日の P T A 研修会の中では、保護者も危機感を持っておられ、学校と連携して進めていくことが必要だという考えであった。

[委員] P 1 6 特別支援教育の充実の中で、乳幼児期からの発達障害等をお持ちのお子さんについて、小学校に引き継がれていけないところもある。関係機関等とも連携をとって継続的な教育をしていくことが重要と考える。

[事務局] 乳幼児期の状態が小学校、中学校へ情報が伝わっていないのではないかと指摘もあり、継続的な教育・支援ができるような個人記録票の様式を作成し、統一化したいと考えている。このことについては、本文の中に記載していく。

[委員] 学力向上について、射水の特質に応じた「射水型学力向上プログラム」を示すことはできないか。

いじめ防止対策について、大人に対する指導のものが記載されているが、子どもが主体となった表記も必要でないか。子どものいじめ等解消能力が育っているか、やや疑問に思う。自発的にいじめをなくす子ども社会を子どもの力でつくりだせる取組を記載したら良いのではないか。

食育の推進について、残菜率や残菜がどうなっていくのか、満足に食べられない国もある中、食べ物への感謝も含めて、子どもたちに幅広く意識付けをしていく必要があると考える。

[事務局] 子どもたちによるいじめの撲滅については、生徒会、児童会活動においても取り組んでいるところである。P 11 にいじめフォーラムの開催と記載してある。小杉小、小杉中学校、三ヶ地区とで2回フォーラムを実施している。そのような活動が、全市内に広がっていけば良いと考えており、校長会等で紹介していく。

各中学校では、人権週間・月間において、いじめ撲滅のキャンペーンなどを行っているところだが、表記しきれていないところもある。

学力対策については、放課後の時間に補充学習を進めていく考えである。放課後子ども教室においても、学習的な教室を実施する。中学校については、エアコンが設置されることもあり、夏季休業中を利用した補充学習を進めていきたいと考えている。

食育については、地産地消に焦点を当てて力を入れている。栄養士も地元産を意識しながら取り入れている。また、生産者を招いて、話を聞いたりすることもある。

[委員] 放課後子ども教室で、学習的な教室をすることについて、P 10 に高等教育機関と連携し、学生の協力を得た補充学習と記載されているが、学校の先生方で退職された方がたくさんおられることから、その方々の協力を得ることはできないか。

[事務局] そういったことも検討しているところである。

[委員] レクリエーションの表記に気をつけられたい。

[委員] P 30 施設の利用について、「様々な機会を捉え公開を図ります。」という表記では少し弱いような感じがするので、他とコラボするなど工夫を凝らした公開を図るようにすれば良いのではないか。

[委員] 文化施設の利用者が伸び悩んでいる。要因をしっかりと分析され、工夫したり、斬新さを取り入れたりして、アピールしながら取り組んでいかれたい。

[事務局] 新湊、小杉、大門の会館については、文化振興財団が指定管理を受託しており、館の収容人数などにも応じつつ、バランスを取りながら催しを計画している。

東北大震災や人口減少も減要因に考えられるが、これからも工夫を凝らしながら利用者増に努める。

午後0時5分、議事等が終了したので委員長が閉会を宣した。